

2024年 12月 卒後藤谷塾 議事録
開催日 2024年 12月 11日 (水) 7:00~8:00

■活動報告

- ①所属部署
- ②活動内容
- ③困っていること、その他相談など

【7期生】

A(神奈川県)

- ①看護部
- ②特定行為、外来初診問診、ホットライン対応、救急初期対応、急変時初期対応、病棟管理
- ③特になし

B(福岡県)

- ①看護部
- ②内科入院患者の入院管理、特定行為実践
- ③特になし

C(愛知県)

- ①看護部
- ②入院管理、整形外科・外科手術助手、心カテ助手、特定行為実践
- ③特になし

D(神奈川県)

- ① 総合診療センター 総合診療内科
- ② 患者担当、外来など、指導医の指導を受けながら診療へ介入、微量元素チーム
特定行為 (A line、PICC など)
- ③特になし

【8期生】

E(東京都)

- ①診療部
- ②心臓血管外科での臨床研修 カルテ記載 医師の処置介助 特定行為の実施
- ③特になし

F(埼玉県)

- ①看護部

②循環器、麻酔科にて研修中

(特定行為,診療記録の記載,指導医の監視下で全身麻酔維持中の管理,循環器ホットライン)

③なし

G(東京都)

①看護部

②小児科 総合診療科にてカルテ記載、小児の採血、末梢ルート確保

③特になし

H(新潟県)

①看護部一般病棟

②一般病棟、介護医療院、特養で特定行為の実践。指導医と共に受け持ち患者の管理。

③雪下ろしで出勤前から疲労感

J(東京都)

①看護部付診療部出向

②特定行為 (A 採血、A ライン、点滴・抗生剤処方・PICC、抜管、デブリ、その他)、代行オーダー、カルテ記載、緊急心カテの準備から介助まで一連の業務、CCU ネットワーク対応、整形外科オペでの医師介助の勉強

③適宜看護部長へ相談

K(沖縄県)

①看護部

②週2~3日、指導医とともに患者受け持ち、特定行為実践

③なし

L(東京都)

①看護部

②総診実習 特定行為の実践 (陰圧閉鎖・血流のない壊死組織の除去・呼吸器離脱)

③特になし

M(奈良県)

①診療支援室

②神経内科・消化器内科で指導医の元研修中、特定行為の実践

③特になし

■症例発表

70 歳代 男性 主訴血便（9 年前から血便が原因で 18 回繰り返している）

最後の入院が 2024/1/13 で、4 か月程度経過している

既往に心原性脳梗塞があった男性が 9 年間継続していた下血が再度出現した。今回血圧が下がった歴もあったため、抗凝固薬を中止するためウォッチマンの手術を検討した症例。

血便から鑑別として

- ・潰瘍性大腸炎
- ・ポリープ
- ・大腸憩室炎

過去の入院歴からも治療に難渋していた。

選択肢としてウォッチマン手術の検討・抗凝固薬の変更をあげた

質問

- ・ウォッチマンの順序について
- ・憩室炎ガイドラインの使用などはいかがか
- ・ワーファリンは出血が抑えられるのかもしくは出血のコントロールがしやすく選択されているのか（ケイツーの使用等）
- ・出血のある方の INR は？

凝固薬の使用→ウォッチマン後には DAPT の使用になる

筑井 NP より

その人にとってのもっともいいと思われる選択。脳梗塞を起こすことが問題か出血することが問題か、どちらが大きく患者にとって不利益が出るかを考えて治療が必要である。